

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(R3.6.16)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1. 大在	8:19	0	19.1	—	—	0	0	1	0
2. 神崎	8:31	0	19.5	—	—	0	0	0	0
3. 古宮	8:45	0	19.1	—	—	0	0	0	0
4. 一尺屋	9:00	0	19.7	—	—	30	0	0	0
5. 下の江	9:53	0	20.6	33.25	7.7	5	0	0	0
		2	20.6	33.40	7.8	1	0	0	0
		5	19.7	33.56	7.9	0	1	0	0
		10	18.7	33.68	7.4	0	0	0	0
6. 下の江(奥)	9:57	0	20.6	33.18	7.7	2	0	0	0
		5	20.0	33.54	7.8	0	0	1	0
7. 日ノ浦	10:24	0	20.6	32.93	7.8	7	0	0	0
		5	19.2	33.65	7.7	0	0	0	0
8. 三つ子養殖場 大分みらい水産	10:10	0	20.1	33.13	7.6	0	0	0	0
		5	19.3	33.45	7.4	3	0	0	0
9. 三つ子養殖場 臼杵海産	10:06	0	20.1	33.06	7.6	1	0	0	0
		14	19.4	33.55	7.6	0	0	0	0
10. 黒島	10:37	0	20.0	33.15	7.6	6	0	0	0
		5	19.3	33.56	7.5	0	0	0	0
11. 日代	11:58	0	19.3	—	—	0	0	0	0

※st.5～st.10 の0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/cc)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

\* アラビ、ササエ等ではカレニア・ミキモトイで100～200細胞/ccで斃死する可能性があります。

\* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

連絡事項:

有害プランクトンのヘテロシグマ・アカシオとシャットネラ類が確認され、シャットネラ類は注意密度を超えています。  
魚介類の管理にご注意ください。

